

まちだユニバーサル社会推進計画(第3次町田市福祉のまちづくり推進計画)推進事業自己評価結果 概要版

資料2

進捗状況 順調:◎ おおむね順調:○ 改善が必要:△

分野1 施設等整備のユニバーサルデザインの推進

No	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2023年度	2024年度	2025年度 取組内容	担当課(回答した課)	参考1
重点	1. バリアフリー基本構想の進行管理								P.6
実施目標	●バリアフリー基本構想の進行管理(毎年度)				◎	◎	◎	・協議会による外部評価の指摘事項である「進行管理において市民意見を聞く機会が十分に設けられていない」への対策として、バリアフリー部会(学識者、障がい者、高齢者、町内会・自治会代表者、国、東京都などで構成)を設置し、2024年度に基本構想改定を実施した成瀬駅周辺地区を除く9地区の特定事業計画の進行管理を実施しました。 ・今後の基本構想改定等に関する検討を実施しました。	交通事業推進課
	●バリアフリー基本構想の改定 1地区		●バリアフリー基本構想改定 対象地区の検討等						
	—	●全地区のバリアフリー基本構想に教育啓発 特定事業を追加							
重点	2. 福祉のまちづくり総合推進条例・適合証制度の普及啓発								P.8
実施目標	●制度の周知、啓発				△	○	◎	・町田市福祉のまちづくり総合推進条例に基づく「障がい者用駐車区画」や「思いやり駐車区画」について利用カードのデザインを変更し、適正利用について市ホームページで周知・啓発を行いました。 ・「町田市福祉のまちづくり総合推進条例整備基準適合証」のあり方について検討し、多様な掲示方法に対応するため、素材とデザインを変更しました。 ・法改正に伴う町田市福祉のまちづくり総合推進条例施行規則の改正及びマニュアルの改訂を行いました。	福祉総務課
	●「適合証」のあり方を検討		●新たな「適合証」の普及・啓発の実施						
						○	○	○	市ホームページや窓口資料において、制度(施設整備、適合証)の周知、啓発を行いました。

No	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2023 年度	2024 年度	2025年度 取組内容	担当課(回答した課)	参考1	
3. バリアフリー、ユニバーサルデザインによる市の建築物の整備										P.11
実施 目標	●施設整備における情報共有の仕組みを検討・構築			●情報共有の 実施	○	○	○ ・新規の施設整備を検討中の課に対し、バリアフ リー・ユニバーサルデザインの観点から当事者参 画等に関する助言や作成書類の確認等を行いま した。 ・ピクトグラムで車椅子使用者対応トイレの用途 を示すことのできるピクトシールを民間の町田市 バリアフリーマップ掲載施設に送付しました。	福祉総務課		
	●多様な使用者に配慮した各新築・改修施設の整備						◎ 「成瀬子どもクラブ新築事業」において、町田市 福祉のまちづくり総合推進条例で定める整備基 準等に適合するよう率先的に整備を行い、適合 証を取得しました。	営繕課		
							「成瀬子どもクラブ新築事業」において、子どもの 意見反映を目的としたアンケートを実施し、329 人から回答がありました。基本実施設計を2023 年6月～2024年2月に行い、2024年12月～ 2026年1月まで建築工事を実施しました。	児童青少年課		
4.ユニバーサルデザインによる市立学校の教育環境整備										P.13
実施 目標	●学校施設におけるユニバーサルデザインの推進				○	○	○ ①2023年度に設計を完了した中学校3校のう ち、1校のエレベーター設置工事を完了、2校の エレベーター設置工事に着手しました。 ②建て替えを行う2地区で校舎建設工事に着手 しました。 ③建替えを行う1地区の基本・実施設計を完了、 1地区の基本・実施設計に着手しました。	施設課 新たな学校づくり推進課		
5.歩道のバリアフリー改善整備(歩道整備・舗装補修)										P.15
実施 目標	●歩道整備新設延長				◎	◎	◎ 早期に工事を発注したことや発注後の進捗管理 を徹底したことで、予定通り工事を完了しました。	道路整備課		
	0.65km	—	2.11km	—						
	●歩道舗装補修工事				○	○	○ 8件の歩道舗装補修工事を行い、安全で安心し て歩ける快適な歩行空間を形成しました。	道路維持課		

No	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2023年度	2024年度	2025年度 取組内容	担当課(回答した課)	参考1	
6.放置自転車対策										P.18
実施目標	●放置自転車等の対策実施				○	○	○ ・駅周辺を放置禁止区域に指定し、放置自転車に対する警告・撤去を行いました。 ・低未利用地や空きスペースを駐輪場として活用する駐輪場シェアサービス「みんなちゅうSHARE-LIN」を推進することで、放置自転車等の減少に取り組みました。 ・町田駅周辺の駐輪場マップを作成し、各駅の自転車等駐車場や公共施設等で配布しました。 ・2025年7月に森野第一自転車駐車場の定期利用台数を89台、森野第一バイク駐車場の一時利用台数を68台増設しました。	道路管理課		
7.バリアフリー、ユニバーサルデザインによる公園の整備										P.20
実施目標	●公園のバリアフリー、ユニバーサルデザイン整備				○	△	△ ・7月に開園した小山田蓮田緑地には、インクルーシブ遊具を設置しました。 ・(仮称)境川金森調節池上部公園の実施設計を完了しました。この設計には、インクルーシブ遊具の設置を盛り込みました。 ・開発提供公園については、町田市福祉のまちづくり総合推進条例で定める整備基準等に基づき、適切に開発事業者への指導を行いました。 ・野津田公園については、他の施設の整備を先行して進めています。 ※開発提供公園：一定規模以上の開発行為においては、開発事業者が土地の一部を公園・緑地として整備し、地方自治体に移管します。これらの公園のことを「開発提供公園」と呼んでいます。	公園緑地課		
	●遊具広場整備(野津田公園)									
	基本設計	実施設計	工事(1/3)	工事(2/3)						
8.公共トイレ計画の推進										P.22
実施目標	●公共トイレ協力店等の周知				◎	○	○ 「町田市公共トイレマップ」、「町田駅周辺駅周辺駐輪場マップ」、「町田シティマップナビタ」の作成、配布や、市ホームページでの情報揭示を行いました。	環境共生課		

No	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2023 年度	2024 年度	2025年度 取組内容	担当課(回答した課)	参考1	
9.住宅バリアフリー化改修工事の助成・住宅改修アドバイザーの派遣										P.24
実施 目標	●住宅バリアフリー化改修工事助成の実施				◎	○	○	2025年6月2日から助成を開始し、14件の申請 に対し助成を行いました。	住宅課	
	●住宅改修アドバイザー派遣の実施				◎	◎	◎	・介護保険の住宅改修や設備改修を行う方から の依頼に基づき、住宅改修の施工に関する助言 及び指導を行うアドバイザーを無料で派遣しまし た(2026年2月現在131件)。 ・アドバイザー間の知識の平準化を図るため、住 宅改修アドバイザー会議を開催しました。	介護保険課	
					◎	◎	◎	他課や障がい者支援センターと連携を取りなが ら、市民への周知を行いました。また、相談対応 の質の向上を目的に市担当者による障がい者支 援センターの職員への研修を行いました。	障がい福祉課	
10.交通環境・地域で支える交通(移動支援)の整備										P.27
実施 目標	●鉄道事業者に対する補助(毎年度)による鉄道駅ホームドアの整備				○	○	○	・小田急鶴川駅にて駅改良工事の一環として ホームドアの整備を行う予定です。2027年度の 工事完了に向けて鉄道事業者が整備時期を検 討しており、地区街づくり課と業務分担を決定 し、情報共有を進めました。 ・2025年9月から、相原地域において新たな地 域による支え合い交通の運行が開始しました。こ の取組の実施にあたり、町田市は技術的支援を 行いました。	交通事業推進課	
	●多様な主体が連携した交通の取組や新たな交通の実用化・実証実験									
		新規2地区	新規1地区	新規1地区	新規1地区				・外出に困っている地域や送迎が必要な団体で ドライバーとして活躍できる方を養成するため、 「地域支え合い型ドライバー養成研修」を全域版 と地域版の計2回開催しました。全域版では、地 域で活動している団体を紹介し、住民団体等が 実施する移動支援のドライバー活動につながる よう働きかけを行いました。 ・現在活動している団体に対し、高齢者支援セン ターと連携して活動への助言や他団体の情報提 供を行うなど、活動継続のための支援を行いまし た。	高齢者支援課

	No	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2023 年度	2024 年度	2025年度 取組内容	担当課(回答した課)	参考1
	11.共同配車センターの運営									P.31
実施 目標		●福祉輸送サービスの周知及び支援				○	○	○ ・福祉輸送サービス共同配車センターの運営内容や課題について、運営主体である町田市社会福祉協議会や運行事業者との担当者会議を定期的に開催し、検討を行いました。 ・共同配車センターの運営事業費の補助を行いました。 ・福祉輸送サービス運行事業者と11月に開催されたまちカフェにブースを出展し、120名の方にご来場いただきました。来場者の方には福祉有償運送や車椅子の操作方法について理解を深めていただきました。	福祉総務課	
						○	○	○ 「高齢者のための暮らしのてびき」、「障がい者サービスガイドブック」、「みんなのおでかけマップ(町田市バリアフリーマップ)」、及び社会福祉協議会のホームページで事業の周知を行いました。また、2025年度は会員に向けて登録更新の手続きを依頼し、市外への転居者やお亡くなりになった方などの登録者の実態把握をおこなうことができました。	社会福祉協議会	

分野2 心と情報のユニバーサルデザインの推進										
	No	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2023 年度	2024 年度	2025年度 取組内容	担当課(回答した課)	参考1
重点	12.心のバリアフリー、ユニバーサルデザインの普及啓発									P.35
実施 目標		●教育啓発特定事業計画の 検討・策定		●策定した計画の実施		◎	◎	◎	8月に実施したイベント「車いすにのって宝さがし」や、南第三小学校への出前講座など計16回のイベント・講座の他、X(旧Twitter)での啓発(投稿数:61件)、FC町田ゼルビアの選手や障がい者モデルを起用した啓発ポスター等、心のバリアフリーに係る普及啓発を行った結果、町田市ちょこっとアンケートにおいて心のバリアフリーという言葉「聞いたことがあり、意味も理解している」と回答した人の割合は48.3%でした。	福祉総務課
		●心のバリアフリーの認知度(50%以上)								
		35%以上	40%以上	45%以上	50%以上					
		●「心のバリアフリーハンドブック」 全面改訂		—	—					

No	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2023年度	2024年度	2025年度 取組内容	担当課(回答した課)	参考1	
13.市立小・中学校での心のバリアフリー教育の推進										P.38
実施目標	●心のバリアフリー教育の実施				○	○	○ 児童生徒の発達段階に応じ、障がいの有無にかかわらず、共に社会性や人間性を育み、お互いを尊重し合う「心のバリアフリー教育」を引き続き実施してきました。具体的には、特別支援学級を設置していない学校の児童生徒と特別支援学級＜特別支援学校＞との交流の機会を確保することや今後の取り組みについて関係者間で協議することで、交流教育を推進することができました。	教育センター 指導課		
14.福祉教育の実施										P.40
実施目標	●福祉教育の実施				○	○	○ 福祉体験学習として89件の授業を実施。手話22件、点字17件、車いす14件、アイマスク21件、障がい当事者体験談14件、ボランティア学習1件を小学校28校、中学校4校、高校2校で実施しました。授業の実施にあたっては、ボランティア団体や障がい当事者から協力いただきました。	社会福祉協議会		
15.生涯学習におけるユニバーサルデザインの啓発										P.43
実施目標	●「生涯学習センター」の事業計画に基づき運営				◎	○	○ ・「町田市生涯学習センター運営見直し実行計画」に基づき、「まちだの福祉講座」事業及び「障がい者青年学級」事業を実施しました。 ・支援スタッフが減少傾向にあるなか、「障がい者青年学級」事業を継続し安全に実施できるよう、支援スタッフをはじめ事業関係者と検討を行いました。	生涯学習センター		
	●持続可能な仕組みづくり									

No	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2023年度	2024年度	2025年度 取組内容	担当課(回答した課)	参考1	
16.市職員の心のバリアフリー研修の実施										P.46
実施 目 標	●職員研修の実施				◎	◎	◎ ①新規採用職員研修において、心のバリアフリーを含む「ユニバーサル社会推進のまちづくり」研修を実施しました。 ②市職員の「障害」への理解を深めるため「障害平等研修」を実施しました。 ③管理監督職(課長級及び係長級)を対象に「障がい者雇用理解促進研修」を実施しました。 ④全職員向けに障がい理解促進のためのeラーニングを実施しました。	職員課		
	●アンケート等の実施・検討				◎	◎	◎ ・庁内希望者へ音声コード「Uni-Voice」の操作研修を1月に実施し、視覚障がい者や高齢者とのコミュニケーションに便利なアプリの紹介や、その人々への情報アクセシビリティの必要性について啓発を行いました。(受講者数:6名) ・職員課と連携し、新規採用職員研修において「ユニバーサル社会推進のまちづくり」研修を実施しました。 ・障がい福祉課と協働して設問を作成し、共生社会に関する職場研修(Forms)を行いました。(受講者数:2,897名)	福祉総務課		
							福祉総務課や選挙管理委員会と連携し、共生社会の理解を深めるためのeラーニングを実施しました。	障がい福祉課		
17.交通安全情報の発信及び交通安全学習の充実										P.49
実施 目 標	●交通安全情報の発信及び交通安全学習の充実				◎	◎	◎ ・市立小学校40校において3年生を対象とした自転車教室、市立中学校7校においてスタントマンを活用した自転車教室を実施しました。また、ヘルメット着用の有用性や自転車保険の加入義務について周知するチラシを作成し、中学校自転車教室において配付しました。 ・高齢運転者や、福祉施設等で送迎を行っている方を対象とした安全運転実技教室を実施しました。	市民生活安全課		

	No	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2023 年度	2024 年度	2025年度 取組内容	担当課(回答した課)	参考1	
重点	18.情報のバリアフリー、ユニバーサルデザインの推進									P.52	
実施 目標	●情報のバリアフリー、ユニバーサルデザインの周知・啓発				◎	◎	◎	・X(旧Twitter)で、情報バリアフリーについて発信を行いました(投稿数:全投稿61件中9件)。 ・情報バリアフリーハンドブックについては、市ホームページで公表しているほか、FC町田ゼルビアや町田市福祉のまちづくり推進協議会委員が所属している事業者等に配布しました。 ・情報バリアフリーについてルミネ町田店等の事業者へ情報共有しました。 ・庁内の希望者を対象にUni-Voice研修を行いました。(受講者数:6名)	福祉総務課		
	●「情報バリアフリーハンドブック」 全面改訂				—	—		・「広報まちだ」で、デフリンピック及び手話に関する特集をするとともに、手話表現のコラムを掲載しました。 ・市の情報をスマートフォンでも閲覧できるよう、スマートフォンの操作が不慣れな高齢者向けにスマートフォン講座を実施しました。	広報課		
	●広報活動の市民満足度(2026年度72%以上)				○	○	○	・「広報まちだ」で、デフリンピック及び手話に関する特集をするとともに、手話表現のコラムを掲載しました。 ・市の情報をスマートフォンでも閲覧できるよう、スマートフォンの操作が不慣れな高齢者向けにスマートフォン講座を実施しました。 ・必要な情報が必要とする人に適切に届くよう、広報紙や公式LINEで、市が情報発信している情報ツール(広報紙、ホームページ、SNSなど)をPRしました。			
19.手話通訳者・要約筆記者の派遣											P.55
実施 目標	●手話通訳者、要約筆記者の派遣				○	○	○	・手話通訳者・要約筆記者を派遣し、コミュニケーション支援を実施しました。 ・手話通訳者の派遣を利用している聴覚障がい者との懇談会を開催しました。	障がい福祉課		
20.「高齢者のための暮らしのてびき」及び「障がい者サービスガイドブック」の作成											P.57
実施 目標	●各てびき・ガイドブックの発行及び配布				◎	◎	◎	2024年4月の発行から2年を経過するので、2026年4月に新旧対照表を約1100部作成、発行し、2026年4月に関係各所へ送付する予定。	いきいき総務課		
					◎	◎	◎	・障がいに関する各種相談窓口や制度、市内事業所一覧等を記載した「障がい者サービスガイドブック」を継続して発行し、相談窓口等の周知を図ることで、障がいがある人に必要な情報やサービスが行き届くようにしました。 ・音訳版、点訳版、音声コード版を作成し、視覚障がいがある人にもガイドブックの情報が届くようにしました。	障がい福祉課		

No	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2023年度	2024年度	2025年度 取組内容	担当課(回答した課)	参考1	
21.「まちだ子育てサイト」による子育て情報の発信										P.60
実施 目標	●情報の発信及び更新				○	○	○	・子育てに関するオンライン手続きや情報検索の円滑化を図るため、まちだ子育てサイトから、バーチャル市役所ポータル「まちドア」や生成AIチャットボット「AIナビゲーター」へ直接アクセスできるよう改修しました。 ・庁内への周知及び掲載の呼び掛けを行うことで、子どもやその保護者向けのイベント情報の充実を図りました。 ・庁内他部署や関連機関が発信した子どもや子育てに関する情報を引用発信するなど、発信内容のさらなる充実を図りました。	子ども総務課	
	●SNSの発信件数									
	180件	216件	228件	240件						
22.図書館サービスのユニバーサルデザイン整備										P.63
実施 目標	●視覚障がい者等向け資料の充実				○	○	◎	・視覚障がい者向けに録音図書再生機器の貸出を3件実施しました。 ・初心者向けの音訳ボランティア講座を実施し、25名の方々にご参加いただきました。 ・「電子書籍サービス」のタイトル数を増やし、サービス充実を図りました。 ・視覚障がい者専用電子図書館「アクセシブルライブラリー」を引き続き提供しました。	図書館	
	●ボランティアとの連携、ボランティア講座の実施(年1回)									
	●「電子書籍サービス」の提供									
	4,900点追加提供	1,000点追加提供	2,000点追加提供	1,000点追加提供						

No	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2023年度	2024年度	2025年度 取組内容	担当課(回答した課)	参考1
23.「町田市バリアフリーマップ」の整備									P.65
実施 目標	●情報の更新・拡充(毎年度)				◎	◎	◎	各施設の整備状況の調査に基づき、町田市バリアフリーマップホームページを更新し、情報を提供しています。	福祉総務課
	●ホームページのリニューアル		●新ホームページの運営						

分野3 災害対策のユニバーサルデザインの推進										
	No	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2023 年度	2024 年度	2025年度 取組内容	担当課(回答した課)	参考1
重点	24.避難施設のユニバーサルデザイン整備									P.67
実施 目標		●体育館のユニバーサルデザインによる施設整備				○	○	○ PFI方式で整備する2地区について、ユニバーサルデザインへの配慮を盛り込んだ要求水準書に基づきPFI事業者と設計を進めるとともに、バリアフリー法や町田市福祉のまちづくり推進条例に関して関係機関と協議を行い、計画通知の取得を含む実施設計業務を完了しました。また、従来方式で整備する1地区で基本・実施設計を完了し、既存校舎解体工事について受注者と契約を締結しました。	施設課 新たな学校づくり推進課	
		●避難施設の環境整備				○	○	○ ・「町田市防災WEBポータル」及び「町田防災カレッジ」にて、様々な防災情報を発信しました。 ・高齢者、乳幼児等の要配慮者における災害時の生活環境改善のため、おしりふきとしても使える身体拭きや液体ミルクを整備しました。 ・備蓄食であるアルファ化米は、アレルギー物質(特定原材料等)28品目不使用の7年保存の商品としました。 ・マンホールトイレを整備しない都立高校等8施設について、代替として電動ラップ式トイレを追加導入しました。	防災課	
	25.避難行動要支援者名簿の作成									P.70
実施 目標		●避難行動要支援者名簿の作成・提供				○	○	○ ・例年通り、避難行動要支援者名簿を作成し、作成した名簿は、災害に備え、消防・警察・社会福祉協議会等の関係者に提供を行いました。 ・2024年度から「避難行動要支援者等管理システム」を使用して、避難行動要支援者名簿の作成及び個別避難計画の管理をしています。	福祉総務課	

	No	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2023 年度	2024 年度	2025年度 取組内容	担当課(回答した課)	参考1
	26.二次避難施設(福祉避難所)の確保									P.72
実施 目標	●二次避難施設(福祉避難所)の設置に関する協定締結					◎	◎	○ ・障がい者福祉施設と高齢者福祉施設の合同の二次避難施設調整会議を書面開催で実施し、二次避難施設の役割と災害時の対応の再確認を行いました。 ・生活介護・就労継続支援B型施設である「花の家」で二次避難施設開設訓練を実施しました。避難輸送訓練と合同で実施することで、発災時の要配慮者移送の連携体制を確認しました。	障がい福祉課	
	●二次避難施設(福祉避難所)開設訓練の実施(毎年度)					○	◎	◎ ・高齢者福祉施設と障がい者福祉施設の合同の二次避難施設調整会議を書面開催で実施し、二次避難施設の役割と災害時の対応の再確認を行いました。 ・特別養護老人ホーム杏林荘で二次避難施設開設訓練を実施しました。避難輸送訓練と合同で実施することで、発災時の要配慮者移送の連携体制を確認しました。	いきいき総務課	
	27.避難経路等のユニバーサルデザイン整備									P.75
実施 目標	●無電柱化整備 整備済延長 (累計)4.98km					◎	◎	◎ 早期に工事を発注したことや発注後の進捗管理を徹底したことで、予定通り工事を完了しました。	道路整備課	
	(累計)4.98km (累計)4.98km (累計)5.88km ●ブロック塀等撤去助成					○	○	○ 2025年4月1日から助成を開始し、12件の申請に対し助成を行いました。	住宅課	

No	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2023年度	2024年度	2025年度 取組内容	担当課(回答した課)	参考1
28.避難輸送の体制整備									P.78
実施 目 標	●協定先の拡充検討		●検討結果に基づく新たな 協定先の拡充		◎	○	△ ・協定先については検討しましたが、その後の運用面のスキームが検討中のため、共同配車センターの今後の在り方と同時に協定先についても見直していきます ・福祉総務課で実施している避難輸送訓練について、障がい福祉課、いきいき総務課が実施する二次避難施設開設訓練と合同で行い、災害時の避難行動要支援者の円滑な移送に向けた訓練を実施することができました。	福祉総務課	
	●避難輸送訓練の実施(毎年度)				◎	◎	○ 町田市福祉輸送サービス共同配車センター事業、町田市市民外出支援サービス事業及び町田市やまゆり号運行サービス事業の協定に規定する避難輸送について、町田市総合防災訓練の開催に併せ、発災を想定した実動訓練を実施しました。	障がい福祉課	
					○	◎	○ ・輸送訓練を二次避難施設開設訓練と一体的に実施し、発災時の要配慮者移送の連携体制を確認しました。	いきいき総務課	
					○	○	○ 2025年10月11日(土)、相原地区で災害時の避難行動要支援者の避難輸送訓練を実施しました。訓練には町田市(福祉総務課、障害福祉課、いきいき総務課)、共同配車センター、NPO法人町田ハンディキャプ友の会、小田急交通南多摩株式会社、社会福祉協議会が参加しました。あいちゃん号及びやまゆり号を使用し、一次避難施設(相原小学校を想定)から二次避難施設(高齢者施設の杏林荘、及び障がい者施設の花の家)への輸送を実施しました。	社会福祉協議会	
29.防災情報のユニバーサルデザイン整備									P.83
実施 目 標	●多様な媒体による防災情報の発信				◎	◎	◎ ・2025年6月4日に、風水害を想定した町田市ホームページの防災訓練を実施しました。 ・2026年1月23日に、地震を想定した町田市ホームページの防災訓練を実施しました。	広報課	
					◎	○	◎ ・視覚障がい者が、「町田市洪水・土砂災害ハザードマップ」における洪水や土砂災害のリスク等を音声読み上げにより確認できるようにするため、Uni-Voice Blind(ユニボイスブラインド)アプリの「耳で聴くハザードマップ」を導入し、町田市ホームページで公開しました。 ・目の不自由な方や活字を読むことが困難な方等に情報をお届けするため、「命を守るためのまちだ防災ワンアクセス」の音声版を作成し、町田市ホームページで公開しました。	防災課	

	No	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2023 年度	2024 年度	2025年度 取組内容	担当課(回答した課)	参考1
	30.災害時における社会福祉施設等の情報共有体制整備									P.86
実施 目 標						○	○	○ 町田市障害福祉サービス事業所等災害時情報 伝達訓練を実施しました。	障がい福祉課	
	●情報共有体制整備及び必要に応じた見直し					○	○	○ ・情報共有体制の見直しについては、災害時情 報伝達(様式1)の国システム統合と、利用者安否 情報(様式2)の活用方法や対象事業所・対象者 変更の検討を実施しました。 ・情報伝達訓練を実施し、市内全介護サービス 事業所、高齢者福祉施設等と、災害時の情報共 有体制の確認を行いました。	いきいき総務課	
	●情報伝達訓練の実施(毎年度)					◎	◎	◎ ・9月1日に、子ども生活部所管施設を対象とした 情報伝達訓練を実施しました。 ・訓練では、「児童福祉施設等災害時情報共有シ ステム」を使用し、各施設から被災状況を報告し ていただきました。また、保護者等が利用施設の 被災状況を確認できるよう、各施設の被災状況 を集約して一覧化し、「町田市防災WEBポータ ル」に掲載しました。	子ども総務課	